

若いなかま

若いなかま No.211
2021(令和3)年 11月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号

吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://fayd.jp/>



コロナ禍のため、
校長より知事賞を
受けとる山岡さん



優秀賞第一席
飯塚市立庄内中学校3年
木室 優花さん
題名:「あなたは何をしますか?」

少年の主張福岡県大会 受賞おめでとう!!



審査員会特別賞
明光学園中学校3年
ディサント 愛子さん
題名:「小さな手助け、大きな支え」



左、県教育委員会賞
久留米市立田主丸中学校3年
権藤 あずささん
題名:山里の自然と「生きる」
右、県知事賞
久留米市立田主丸中学校3年
山岡 由愛さん
題名:「残すべきもの」

目 次

表紙	1
第43回少年の主張 福岡県大会	2・3
青少年の健全育成を考える	
「青少年育成“考”」	4
事務局だより	4

お詫びとお願い 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、編集会議をはじめとして、青少年健全育成関係諸事業の延期・中止、取材行動の自粛等で広報誌「若いなかま」の発行が遅れました。また、紙面についても縮小せざるを得なくなりました。県民会議の会員の皆様をはじめ、日頃より県民会議の活動を支援して頂いている方々や団体・企業の皆様に深くお詫びを申し上げます。今後は、新型コロナウイルス感染拡大の状況に注視し、最大限の防止策を行なながら、できるだけ早期に従来の広報誌に戻し、さらに良い、広報誌作成作業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

少年の主張 福岡県大会

第43回 録画審査日 令和3年9月5日（日）

今年度は、コロナ禍でビデオ審査を実施

第43回大会は、コロナ禍にも関わらず、53校、208人から作文の応募があり、9月5日に苅田町中央公民館で行われる予定であった。ところが、収まるかに見えた新型コロナウイルスが7月になつて猛威を振るたため、8月3日、苅田町での大会中止が決定され、ビデオ審査に切り替えられた。大会参加予定だった中学生は各学校でビデオ収録し、提出された動画を審査員が一堂に会して審査することになった。しかし、8月20日に緊急事態宣言が発出されると、それも困難となり、審査員が各自宅で審査するという異例の事態となつた。

審査の結果、福岡県知事賞には田主丸中学校（久留米市）の山岡由愛さんが選ばれた。

山岡由愛さんは41回大会で県知事賞、42回大会で優秀賞第一席を獲得しており、3年連続の入賞である。また、福岡県教育委員会賞も同中学の権藤

あづささんを選ばれた。
しかし、コロナ禍では主催者として表彰式を行うことさえできなかつた。

そこで、広報部会では10月12日、田主丸中学校を訪ね、知事賞の山岡さんと教育委員会賞の権藤さんにお話を伺いました。

田主丸中学校（久留米市）の

山岡由愛さんが選ばれた。山岡さんは41回大会で県知事賞、42回大会で優秀賞第一席を獲得しており、3年連続の入賞である。また、福岡県教育委員会賞も同中学の権藤あづささんが選ばれた。

しかし、コロナ禍では主催者として表彰式を行うことさえできなかつた。

そこで、広報部会では10月12日、田主丸中学校を訪ね、知事賞の山岡さんと教育委員会賞の権藤さんにお話を伺いました。

田主丸中学校（久留米市）の山岡由愛さんが選ばれた。山岡さんは41回大会で県知事賞、42回大会で優秀賞第一席を獲得しており、3年連続の入賞である。また、福岡県教育委員会賞も同中学の権藤

あづささんを選ばれた。

しかし、コロナ禍では主催者として表彰式を行うことさえできなかつた。

そこで、広報部会では10月12日、田主丸中学校を訪ね、知事賞の山岡さんと教育委員会賞の権藤さんにお話を伺いました。

田主丸中学校（久留米市）の山岡由愛さんは、今年、ビデオ収録という新たな体験をした。その違いについて、「大会では直前の緊張が大変でしたが、終わつたときの拍手を肌で感じる喜びや、達成感は楽しい記憶として残っていますね。今年は、教室での収録でしたが、カメラの先の聴衆の姿を想像しながら話をしました」と語る。

新型コロナウイルスは学校生活にも多くの制約や我慢を強いた。しかし、権藤さんが話してくれた言葉が印象に残つた。「給食のときの黙食は大変でした

が、逆に食べることに集中できたので、味わつて食べる楽しさを知りました」

ピンチはチャンス。

今回参加した中学生の皆さんのがコロナ禍の特殊な体験を、若いしなやかな感性で、前向きに活かしていくほしいと願いながら、田主丸中学を後にした。

山岡さんは三年連続の入賞だが、毎回異なるテーマを設定している。一昨年は家族の話、昨年は「子ども兵士」のこと。そして今年は、地域の伝統行事の存続の問題だ。山岡さんは、テーマを選ぶ時には、「どの世代の人に何を伝えるかということを重視している」という。

◆「コロナ禍の子どもたちに寄り添つて
主催者挨拶

公益社団法人福岡県青少年育成県民会議
会長 長井 政典

今年で43回を迎える本大会は9月5日に苅田町で行われる予定で



今年で43回を迎える本大会は9月5日に苅田町で行われる予定で

コロナウイルス感染症拡大でやむなく審査する大会になりました。本年度はコロナ禍で生徒たちがどれだけ苦悩しているのか？厳しい環境を乗り越えようと努力しているのか？私たち大人がそのような子どもたちに寄り添い、ともに悩み、ともに生きていこうことを考える場にしたいと思います。審査委員の皆様をはじめ

最後まで県大会開催に向けてご尽力いただいた苅田町青少年育成町民会議、各関係機関の皆様には感謝申し上げます。

発表された皆さん、お疲れ様でした。一人ひとりの思いが私たち審査委員に感動を与えてくれました。一次審査、二次審査は作文の審査でしたが動画審査での生の声を聴くと印象が変わりジェスチャーや目線などを効果的に使い発表力で各賞の差が出たと言えます。県知事賞を受賞された山岡由愛さんは福岡県代表として全国大会に推薦されます。WEB方式で開催される全国大会ですが大きな感動を与えられることを期待しています。今回発表された18人の皆様には今の自分自身を忘れずに、多くの経験をして社会で活躍できる大人になつて欲しいと思います。

社会の未来のために、私たちができることがあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

@ncbankofficial

@ncbank_official



西日本シティ銀行

おめでとう
県知事賞

久留米市立田主丸中学校3年

山岡 由愛
ゆめ

題名 「残すべきもの」



「祝いましょうっ！もうひとせつ！」

祝うて三言！！

これは私の住んでいる地区で行われる祭、獅子打ちの掛け声です。八月二十五日の早朝、赤と黒、それぞれ二体ずつの獅子の頭や手作りの御幣を持った子供達が、悪疫を退治し五穀豊穫を祈つて地区内の家をまわります。

私達の使つている四体の古い獅子の頭は、明治五年に奉納されたものです。赤い獅子は雌、黒い獅子は雄で、大きい獅子はランドセル程の大きさです。手に持つた獅子の口を開け閉めして音を鳴らします。田主丸の歴史が書かれた本によると、獅子打ちは平安時代の中頃の延長時代から続いてきたそうです。私は小学生から昨年の中学二年生まで、この祭に参加してきました。

地区の祭は獅子打ちの他に芋名月と堂籠りがあります。芋名月は中秋の名月の夜に懐中電灯と大きな袋を持つた子供達が一軒一軒家をまわりお菓子やお芋をもらいます。堂籠りは十一月三十日に出雲から帰つて来る神様をお迎えするために目印として火を焚くお祭です。獅子打ちの準備では、まわる家に配る御幣を作ります。堂籠りの準備では火を焚くための木を集めたり、お宮をきれいにするために落ち葉を掃いたりします。堂籠り当日は、お堂の拭き掃除をし、お参りに来た人にお酒やいりこを出しました。普段、年の違う近所の子供達が集まって何かをする事はありませんので、協力しながら準備をするのは、とても新鮮で楽しく感じていました。毎年各行事で地区の人達と顔が合せられるので、交流が深められ、コミュニケーションを学ぶ場でもありました。

しかし、今年は大きな変化がありました。獅子打ちと芋名月は休止になり、堂籠りは実施できるのか分かりません。その原因はコロナウイルスによって伝統的な文化が無くなってしまうとされています。文化が無くなってしまうと、獅子打ちの掛け声はきっと忘れられてしまうでしょう。それだけでなく、地区の人達との交流も減つて孤立する家庭が増えてしまつたり、子供のコミュニケーションを学ぶ機会が減つたりしてしまいます。

今、私の住んでいる地区には中学生のいる家は六軒ありますが、小学生がいる家は一軒しかありません。子供が少なくなつたことにより、小学生を主体として行われてきた行事が無くなる現状に、テレビや新聞で報道されている少子化問題がグッと身近に感じられました。

少子化により、文化が守られないという問題は日本各地で起きています。私は少子化問題のことを真剣に考えるようになりました。少子化への対策は、もつと真剣に大きな社会問題として取り上げなくてはなりません。少子化、人口減少により、失うものの中には残していくべき宝があるからです。

私が参加している祭は、博多祇園山笠などのように誰もが知る有名な祭ではありません。しかし、幼い頃から親しんできた伝統的な思い出の詰まつた行事です。無くなってしまうのはとても残念で悲しいです。

優秀賞受賞者

(発表順)

氏名	題名	学校名	学年
中島 大護	気づかない依存	照耀館中学校	2年
坂井 千夏	依存と特定の恐怖	照耀館中学校	2年
鷹野 優	本を手にする楽しみを	中間市立中間中学校	3年
A		中間市立中間北中学校	3年
本城 宏樹	普通って何？	行橋市立仲津中学校	3年
井上 心汰	「いじめ」から助けられないか	苅田町立新津中学校	3年
平尾真菜実	未来の鍵	博多女子中学校	3年
犬塚 優璃	伝えたい 私の気持ち	久留米聴覚特別支援学校中学部	3年
酒村 結依	「祖母」	久留米市立荒木中学校	3年
井村 莜花	流鏑馬・人の幸せを祈る優しい心	飯塚市立庄内中学校	1年
下川さくら	自分を変えた出会い	飯塚市立飯塚鎮西中学校	3年
中並 優希	カードでつなぐ命	嘉穂高校附属中学校	3年
大串 彩乃	笑顔のために	飯塚日新館中学校	3年
城戸陽伽里	相手を見つめる	添田町立添田中学校	3年

祭が廃止ではなく休止だということ、復活させることができることです。「またいつか、復活させてほしい」という地区の人達の想いが感じられます。

私は大人になったら、行事の経験や知識を生かし、地区の祭を受け継いで復活させます。再びあの掛け声が元気に響くようになります。地区の人達の想いが感じられます。

「祝いましょうっ！もうひとせつ！祝うて三言！！」

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

ふくおかフィナンシャルグループは、まちや人が輝く場面をともに創り、寄り添うことで、地域とともに、お客さまとともに成長していく存在となることを目指しています。

いちばん近くで いちばん頼れる いちばん先を行く

それが、私たちからお客さまへの約束です。

F 福岡銀行



事務局だより

主な行事（R3年4月1日～11月15日）

4月 1日(木)	徳永秀昭事務局長、下田善太郎総務課長、森山祐二交流課長赴任
5月 27日(火)	第1回総務部会 県民会議監査 第1回健全育成部会（以降、6/21、9/27）
6月 2日(木)	青協常任委員会（以降、6/15、7/29） ※オンラインで開催 第一回理事会 さわやかマラソン大会第1回事務局会議（書面開催）
7月 9日(水)	第一回家庭部会（延期） 青協第1回委員会（総会）（オンライン開催） さわやかマラソン大会実行委員会（書面開催） さわやかマラソン大会、新型コロナ中止
8月 11日(金)	少年の主張県大会打ち合せ会議（刈田町、以降、7/8） 令和3年度定期総会（書面開催） 第一回広報部会（以降、9/30、10/18） 第1回理事会（書面決議）
9月 13日(土)	第2回理事会（書面決議） 「育成キャンブ」実施場所下見 長井会長、服部知事表敬訪問 少年の主張第二次審査
10月 5日(火)	第2回団体審査 第一回家庭部会 第2回広報部会（新型コロナ中止） 少年の主張県大会最終審査（動画審査） 少年の主張受賞者決定会 第2回家庭部会（延期） 「家庭の日」オアシス運動ポスター第2次審査
11月 12日(火)	少年の主張県大会賞受賞者取材（田主丸中学校） 第2回家庭部会 「家庭の日」オアシス運動作文第2次審査 新賛助会員登録（R3年11月現在） 個人賛助会員（株）有明ねっこむ

☆**服部知事表敬訪問**

令和3年7月12日（月）、長井会長が服部知事を表敬訪問しました。改めて会長から知事へ「県民会議の諸取り組みの説明と総会出席等への支援要請」がなされ、議案集が手交されました。今後も県と県民会議の連携を図り、青少年の健全育成を進めていくことが大いに期待されます。

私が青少年を対象とする業務に従事したのは、まずは県の青少年課長を務めた一年間です。前任課長から引継いだ最重要課題は、県の青少年健全育成条例の改正でした。この条例は前文に「青少年が心身ともに健やかに成長することは、福岡県民全ての願いである。（中略）大人の責任において青少年にとってより良い環境づくりに努めたい。」と謳つているとおり、青少年健全育成の基本条例です。当時の改正の主旨は、深夜の青少年の連出し行為の禁止規定を罰則付で設けられることで、有害図書類の指定等と並ぶ、より良い環境づくりの一例です。引き継を受けて、犯罪行為である連出し行為の態様を更に検討して改正案を決定し、議会の承認を得ました。議会の承認を得ました。

次は県民会議事務局長の五年間です。

「大人や皆に自分の思い、考えを訴えた

い」「家庭の居心地の良さを作文、絵で



青少年育成“考”

（公社）福岡県青少年育成県民会議 前事務局長 中島浩

伝えたい」「家族を離れて見知らぬ仲間たちとキャンプしたい。」県民会議では青少年のこのような思いを実現する事業を実施します。体験・経験を通して意欲を計六年間の個人的な職歴を振り返る

と、県民会議事業における青少年の「体験・経験」は、条例前文の大人的責任ですが、青少年をたくましく育てます。

「より良い環境」そのものであり、その後には、同じ意欲を抱いた大勢の仲間たちがいます、県民会議が継続的に事業を実施することで、健全育成の歩みが一層強固になると確信しています。

編集後記

夏休み中の県民会議の恒例事業が全て中止になりました。「少年の主張県大会」はかろうじてリモート開催に▼しかし広報は取材も録画取材もできず211号の企画は行き詰る▼苦肉の策として知事賞と教育委員会賞のダブル受賞した田主丸中学校に取材訪問▼受賞者のお二人と顧問の先生のインタビューが実現▼足を運んで取材する広報本来の活動ができ、何とか広報紙の体を保つことができた▼今現在、ウイルス感染が激減、終息に向かうことを願うばかりである



この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

賛助会員の年会費

- 個人 人1口 1,000円
- 法人又は団体 1口 15,000円
- 特別賛助会員 1口 50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただかず、県民会議事務局に直接ご持参ください。
西日本シティ銀行千代町支店（普通預金）3053033
福岡銀行県内支店（普通預金）526475
筑邦銀行福岡営業部（普通預金）1597091
福岡中央銀行本店営業部（普通預金）1030569
ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057